

Link

令和6年度
第1号



Contents 目次

- | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|----|
| ●組合トピックス(麓谷中学校と佐賀県中小企業青年中央会の取り組み) | ●景況NEWS 令和6年1月～2月 | 9 |
| 佐賀県中小企業団体中央会事務局機構図 | ●【連載】佐賀県中小企業青年中央会Press R06-01 | 12 |
| ●補助金情報について | ●桂のかわら版/【連載】組合Q&A(13) | 13 |
| ●中小企業の関係予算 | ●佐賀県中央会の活動動向/新入職員紹介 | 14 |
| ●BCP成果発表会 | ●行事予定/編集後記 | 15 |
| ●取引力強化取組紹介 | ●【連載】SAGAしてみらんな 寄ってみらんな(もの補助企業) | |
| (武雄マルチワーク、美容、神埼そうめん) | | 6 |

NO.263



「私たちの青春かえしてください」

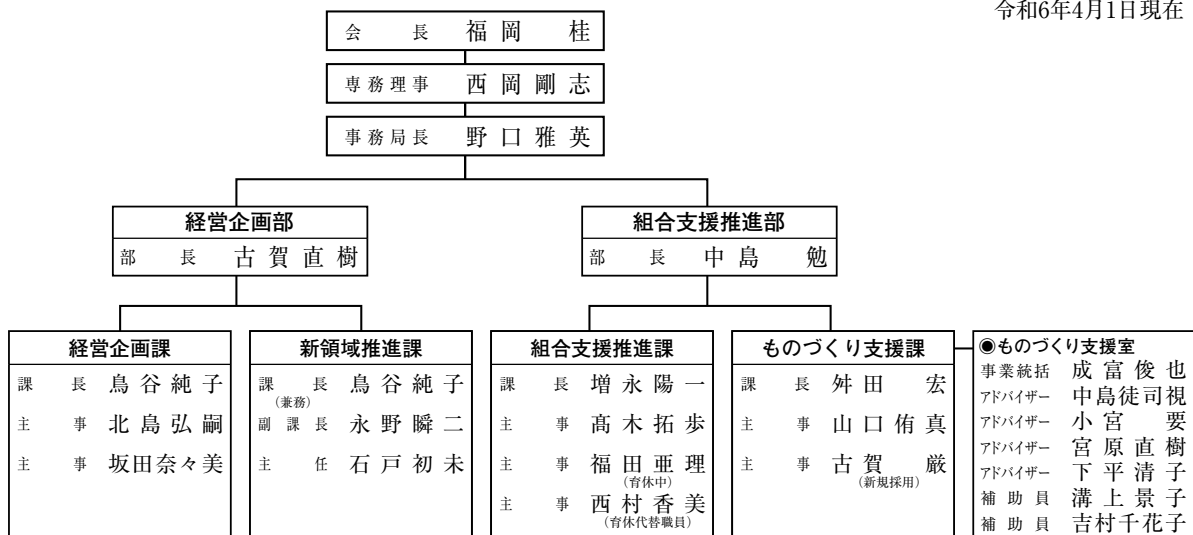
～龍谷中学校と佐賀県中小企業青年中央会の取り組み～

龍谷中学校と青年中央会はキャリア教育の推進に関する連携協定を結んでおり、先日、青年中央会主催の『組合青年部異業種マッチング会』に参加していただきました。その中で、青年中央会の組合員と生徒が一緒になって、企画立案したテーマが「私たちの青春返してください」でした。現在の中学3年生は、新型コロナウイルスの影響を受け、クラスメイトとの思い出を作る機会が失われていました。そこで今回、青年中央会と共に企画したイベントを実現することで、最後に思い出づくりをしてもらおうというものです。佐賀市富士町にて一泊二日の日程で、青年中央会の組合員の力を借りて、旅館業の職場体験や意見交換、おはぎづくりを行いました。作ったおはぎは古湯温泉の観光客や地元の方に配布し、その後清掃活動を行いました。生徒たちもなかよく楽しそうに参加し、組合員や地元の方々とは触れ合うなど、地域貢献にもなり、企画は大成功に終わりました。



佐賀県中小企業団体中央会 事務局機構図

令和6年4月1日現在



【補助金・助成金のご案内】

① 中小企業省力化投資補助金

IoTやロボットなどの付加価値額向上や生産性向上に効果的な汎用製品を「カタログ」から選択・導入することで、中小企業等の付加価値額や生産性の向上、さらには賃上げにつなげることを目的とした補助金です。

補助対象者：人手不足の状態にある中小企業等

補助率等：カタログに掲載された製品が補助対象となります。また、補助上限額は従業員数ごとに異なります。

補助対象	補助上限額		補助率
補助対象として カタログに登録 された製品等	従業員数 5名以下	200万円 (300万円)	1/2 以下
	従業員数 6～20名	500万円 (750万円)	
	従業員数 21名以上	1,000万円 (1,500万円)	

※申請時と比較して、(a)事業場内最低賃金を45円以上増加させること、(b)給与支給総額を6%以上増加させることの双方を補助事業期間終了時点で達成する見込みの事業計画を策定した事業者は、補助上限額を上記表中括弧内の額に引き上げる。

公募受付期間：公募開始時期は未定で令和8年9月末頃までの間に複数回の公募を行います。
詳細は中小企業省力化投資補助事業事務局HP (<https://shoryokuka.smrj.go.jp>) でご確認ください。

② 働き方改革推進支援助成金のご案内

働き方改革推進支援助成金は、生産性を高めながら労働時間の縮減等に取り組む中小企業・小規模事業者や、傘下企業を支援する事業主団体に対して助成するもので、中小企業における労働時間等の設定の改善の推進を図ることを目的としています。令和6年度は次の4つのコースがあり、いずれも交付申請期限は令和6年11月29日(金)(必着)です。

- ・働き方改革推進支援助成金(業種別課題対応コース)
- ・働き方改革推進支援助成金(労働時間短縮・年休促進支援コース)
- ・働き方改革推進支援助成金(勤務間インターバル導入コース)
- ・働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)

なお、支給対象事業主数は国の予算額に制約されるため、11月29日以前に受付を締め切られる場合がありますので、該当する計画をお持ちの場合は予め余裕をもって申請されることをお勧めします。

【お問合せ(申請窓口)】 佐賀労働局 雇用環境・均等室
佐賀市駅前中央3-3-20(佐賀第二合同庁舎5階)
Tel:0952-32-7218 Fax:0952-32-7224

（ 中小企業・小規模事業者・地域経済関係予算等について ）

（令和5年度補正・令和6年度当初予算）

1. 物価高、人手不足等の厳しい経営環境への対応

<価格転嫁対策>

中小企業取引対策事業【当初28億円】＋【補正8.3億円】

価格交渉促進月間（3月／9月）のフォローアップ調査に基づく企業名公表や、大臣名で経営トップへ「指導・助言」。下請Gメンを330名に増強し、取引実態の把握を強化。下請かけこみ寺での相談対応や、「パートナーシップ構築宣言」の実効性の向上

<資金繰り支援>

■日本政策金融公庫補給金【当初147億円】

日本政策金融公庫からの融資における金利を引下げるため、利子補給を実施

■中小企業等の資金繰り支援【補正680億円】（財務省計上分51億円含む）

金利引下げ、資本金劣後ローンの供給等の継続・運用見直し。処理水放出に伴い売上減少に直面した水産加工業者に対する支援等

■中小企業信用補完制度関連補助・出資事業【補正71億円】＋【当初14億円】

新たな借換保証制度、経営者保証を徴求しない創業時の信用保証制度を創設。保証協会による中小企業等の経営支援を実施

■中小企業活性化・事業承継総合支援事業【当初146億円】＋【補正52億円】

中小企業活性化協議会による事業再生支援、事業承継・引継ぎ支援センターによる円滑な事業承継・引継ぎ支援等を実施

<省力化対策・賃上げ対策>

■中小企業省力化投資補助制度【補正1,000億円】（既存基金の活用等含め総額5,000億円規模。事業再構築補助事業を再編）

人手不足に悩む中小企業等のため、省力化投資に関して、カタログから選ぶような汎用製品の導入への簡易で即効性ある支援を新設

■中堅・中小大規模成長投資補助金【補正1,000億円】※国庫債務負担含め3,000億円

地域の雇用を支える中堅・中小企業が、人手不足等の課題に対応するために行う、工場等の拠点の新設、大規模な設備投資を促進

2. 環境変化に挑戦する中小企業・小規模事業者等の成長支援

■中小企業生産性革命推進事業【補正2,000億円】（ものづくり補助金、IT導入補助金、持続化補助金、事業承継引継ぎ補助金）

中小企業・小規模事業者の設備投資、IT導入（インボイス制度への対応支援含む）、販路開拓、事業承継等を支援

■事業再構築補助金【補正 既存基金の内数】

※これまで実施してきた、事業・業種転換等といった企業の思い切った事業再構築への支援は、執行面等での必要な見直しを行う前提で、実施

■中小企業海外展開総合支援事業【当初 中小機構交付金の内数】

新規に海外市場の獲得を目指す中小企業・小規模事業者等による輸出（越境ECを含むブランディング・プロモーション等）を支援

■グリーントランスフォーメーション対応支援事業【当初 中小機構交付金の内数】

中小機構への相談窓口の設置や支援機関の人材育成等によりカーボンニュートラルに向けた取組を支援

■省エネ診断【補正21億円】 + 【当初10億円】

省エネの専門家が中小企業を訪ね、エネルギー使用の改善をアドバイスする「省エネ診断」を、中小企業が安価で受けられるよう支援

■省エネ補助金【補正1,160億円】※国庫債務負担行為を含め2,325億円

工場のボイラや工業炉、ビルの空調設備や業務用給湯器などを、省エネ型設備へと更新することを支援。複数年の投資計画にも対応

■成長型中小企業等研究開発支援事業（G o - T e c h事業）【当初128億円】

大学等と連携して行うものづくり基盤技術及び高度なサービスに関する研究開発を支援、「イノベーション・プロデューサー」を通じたイノベーションの創出支援

■地域の中堅・中核企業の経営力向上支援事業【当初21億円】

専門家・企業間のネットワーク構築や「地域の人事部」の取組を支援。人材活用ガイドラインの普及を通じ人材の戦略的な活用を促進。地域での即戦力D X人材を育成

3. 事業承継、再編を通じた変革の推進

■後継者支援ネットワーク事業【当初4.4億円】

後継者同士の切磋琢磨できる場を創出し、既存の経営資源を生かした新規事業アイデアを競うイベント開催

■中小企業活性化・事業承継総合支援事業【当初146億円】 + 【補正52億円】(再掲)

中小企業活性化協議会による事業再生支援、事業承継・引継ぎ支援センターによる円滑な事業承継・引継ぎ支援等を実施

■事業承継・引継ぎ補助金【補正】(再掲)※中小企業生産性革命推進事業の内数

■中小グループ化・事業再構築支援ファンド出資事業【補正120億円】

中小機構の出資によりファンドを組成し、グループ化・事業再構築を通じた成長を目指す中小企業等に対し、リスクマネー供給、ハンズオン支援を実施

4. 伴走支援・経営支援の推進

■小規模事業対策推進等事業【当初54億円】

中小企業支援機関等を通じて行われる小規模事業者への巡回指導・窓口相談などを支援

■事業環境変化対応型支援事業【補正112億円】

商工会、商工会議所等や、よろず支援拠点の相談体制を強化。インボイスに係る課題解決に向け相談受付窓口を設置

■中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業【当初35億円】

各都道府県によろず支援拠点を整備するなど、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題に対応するための体制を整備

■中小企業経営支援事業【当初 中小機構交付金の内数】

成長志向企業の価値創出や中堅企業への成長に向け専門家による総合的な課題に対するハンズオン支援（伴走支援）を実施

■地域の中堅・中核企業の経営力向上支援事業【当初21億円】(再掲)

専門家・企業間のネットワーク構築や「地域の人事部」の取組を支援。人材活用ガイドラインの普及を通じ人材の戦略的な活用を促進。地域での即戦力D X人材を育成

5. 社会課題解決をはじめとした地域における取組への支援等

■地域の社会課題解決企業支援のためのエコシステム構築実証事業【当初6.0億円】

ソーシャルビジネスを支援する地域の関係者を中心としたエコシステムを構築するため社会課題解決事業モデルを実証する

■工業用水道事業費【当初20億円】 + 【補正16億円】

激甚化する災害への対応のための強靱化やデジタル技術活用による広域化・民間活用による施設の合理化や経営の最適化等を進める（半導体等の国家プロジェクトの生産拠点整備に際する関連インフラ整備の支援に向け、内閣府にて「地域産業構造転換インフラ整備推進交付金」を創設（補正））

■地方公共団体による小規模事業者支援推進事業【当初11億円】 + 【補正2.3億円】

地方公共団体と連携し、地域の実情を踏まえた小規模事業者の販路開拓・生産性向上に向けた取組（災害復旧を含む）を支援

■中心市街地・商店街等診断・サポート事業【当初 中小機構交付金の内数】

変革意欲のある商店街等の事業推進体制強化に向け、複数専門家による面的伴走支援等を行う

■なりわい補助金（令和2年7月豪雨）、グループ補助金（令和元年台風第19号等、令和3・4年福島県沖地震）等の継続措置【補正43億円】

被災地域の速やかな復旧及び復興を支援するため、引き続き措置

6. 税制改正事項

■賃上げ促進税制（延長・拡充）

中小企業を対象に前例のない長期となる、5年間の税額控除の繰越措置を創設。さらに、教育訓練費を増やす企業への上乗せ措置の要件を緩和するとともに、子育てとの両立支援、女性活躍支援に積極的な企業への上乗せ措置を創設し、適用期限を3年間延長。かつてない高い税額控除率（最大45%）を実現

■中小企業事業再編投資損失準備金税制（延長・拡充）

成長意欲のある中堅・中小企業による複数回M&A（グループ化）を集中的に後押しする観点も踏まえ、適用期限を3年間延長するとともに、抜本的に（準備金の積立割合を2回目のM&Aで90%、3回目以降で100%とし、据置期間を10年に）拡充

■※外形標準課税（見直し）

外形標準課税の対象外となっている中小企業やスタートアップ（資本金1億円以下）については、引き続き対象外となる形で見直し

交際費課税の特例（延長・拡充）

交際費を800万円まで全額損金算入を可能とする特例措置を3年間延長するとともに、交際費等から除外される飲食費に係る基準を1人あたり10,000円以下に拡充

■法人版・個人版事業承継税制（延長）

中小企業の事業承継を後押しするため、贈与税・相続税について100%猶予を受けるために必要な特例承継計画の提出期限を2年延長

■少額減価償却資産の特例（延長）

中小企業による30万円未満の少額の減価償却資産の即時償却を可能とする特例措置を2年間延長

■地域未来投資促進税制（拡充）

地域経済のけん引役として良質な雇用を生み出すことが期待される、成長志向の中堅企業が行う大規模国内投資を後押しするため、中堅企業枠を創設（税額控除率6%）

※「中小企業庁・小規模事業者等関連 令和5年度補正・令和6年度当初予算等のポイント」より引用

令和5年度中小企業BCP（事業継続計画）成果発表会を開催しました

基調講演



去る3月15日（金）、佐賀市の四季彩ホテル千代田館にて、現地とオンラインのハイブリッド形式による標記発表会を開催しました。

第1部の基調講演では、備え・防災・BCP策定アドバイザーで合同会社ソナエルワークス代表の高荷智也様に「中小企業のBCP策定・事前対策編～人命と事業を守るための防災・再調達計画の基礎とポイントを知る～」というテーマでご講演いただきました。昨年7月に開催したBCPセミナーの続編として、BCP策定にあたり、手順や個別の対策などを分かりやすくご講義いただきました。

続く第2部では、佐賀市管工事協同組合の若林様、瓦リサイクル事業協同組合の谷田様に、BCP策定のきっかけやメリット、課題、取り組み等についての事例をご紹介いただきました。今年1月に発生した石川県の能登半島地震での被災地の状況や支援についても触れられ、より具体的にその被害の甚大さを知る貴重な機会となりました。

お二方の発表を通じてBCP策定に対し、より一層必要性を身近に感じていただくことが出来たのではないかと思います。その後、第1部講師の高荷様からお二方へご講評いただいた後、盛会裏に終了いたしました。お忙しい中ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

令和5年度は皆様のBCP策定の手助けになるよう、新たにリーフレットを作成いたしました。下の二次元コードより是非ご覧ください。

BCPの策定にご興味のある方、策定中でありつつも途中でつまづいている方がいらっしゃいましたら、私ども中央会は喜んで策定をご支援いたします。どうぞお気軽にお声掛けください。

事例発表



リーフレット



リーフレットはこちら

取引力強化推進事業 取組紹介

佐賀県美容業生活衛生同業組合

「組合紹介のチラシ」と「組合紹介の動画」を作成。

顧客や未加入店に対して、業界や業界における組合の役割をチラシと動画でわかりやすく伝えることで、組合員事業者の利用を促進して、組合の意義や必要性を未加入店に認識してもらえるようになりました。また、組合員店舗なら安心安全の施術を提供できることを認識してもらえるようになり、新規組合員の増加が期待されます！



武雄マルチワーク協同組合

「組合HP」を作成。

インターネット上で組合員の情報を発信することができるようになり、地域の最終消費者等へのアプローチ能力が高まり、組合員の取引機会が大いに高まりました。

また、派遣先企業の情報を始め、武雄市や組合、特定地域づくり事業の制度に関する発信ができるようになり、特に武雄市の情報を発信することで県外からの移住者への訴求力を高めることが出来ました！

神埼そうめん協同組合

「組合HP」を作成。

歴史ある神埼そうめんの存在と品質に加え、美味しさや独自性を多くの人々に知ってもらい、アピールできるようになりました。地域の歴史と伝統を称え、神埼そうめんを通じて地域への誇りを高めつつ、組合員の商品やサービスを広く宣伝し、顧客の購買意欲を高め、組合員各社HPへのリンクを通じて売上の増加も期待しています！



※今年度も実施予定です。準備が整い次第、中央会ホームページにて公募開始します。
(6月予定)

企業の人事担当者の皆様へ

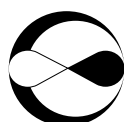
当センターでは

**人材の確保・従業員の再就職を
支援しています。**

事業の拡大・欠員補充等による
人員確保を行いたいとき

事業の整理・縮小等に伴い、
人員削減せざるを得ないとき

そんなとき、お気軽にご相談ください



安心と信頼のネットワーク

公益財団法人

産業雇用安定センター佐賀事務所

佐賀市駅南本町6-4 佐賀中央第一生命ビル10階

TEL0952-22-7163 FAX0952-27-9163

インターネットで最新の人材情報をどうぞ

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

景況NEWS

令和6年1～2月分

佐賀県内中小企業36業界の景況

中央会では、県内36業界より情報連絡員を委嘱し、毎月その業界の景況等についてご報告を頂いております。

ご報告頂いた令和6年1～2月分の景況は下記の傾向を示しています。

なお、全国中央会が取りまとめている全国の調査結果をご希望の方は本会までご連絡下さい。
全国中央会ホームページ (<https://www.chuokai.or.jp/index.php/category/news-keizai/>)
からもご覧いただけます。

1月、2月の傾向

(調査票取りまとめ：令和6年3月22日 情報連絡員総数36名：1月回答数36名、回答率100%、2月回答数36名、回答率100%)

今期(1-2月期)の月次景況調査結果について<前月比>DI(全業種)で見ると、主要指標「売上高」は、1月は▲50.0で、12月の20.6より70.6ポイント大幅に減少し、2月は▲2.9と上昇した。「収益状況」も、1月は▲35.3、2月は▲11.4と、マイナス値が縮小となった。「業界の景況」については、1月は▲32.4で、2月は▲20.0と、こちらもマイナス値は縮小された。

一方、<前年同月比>DI(全業種)をみると、「売上高」については、1月は▲11.7、2月は▲11.4と21ヶ月ぶりにマイナス値となった。「収益状況」についても、1月は▲20.6で、2月は▲14.3と、マイナス値が広がった。「業界の景況」については、1月は▲20.6、2月は▲22.8となり、こちらもマイナス値の広がりが見られた。

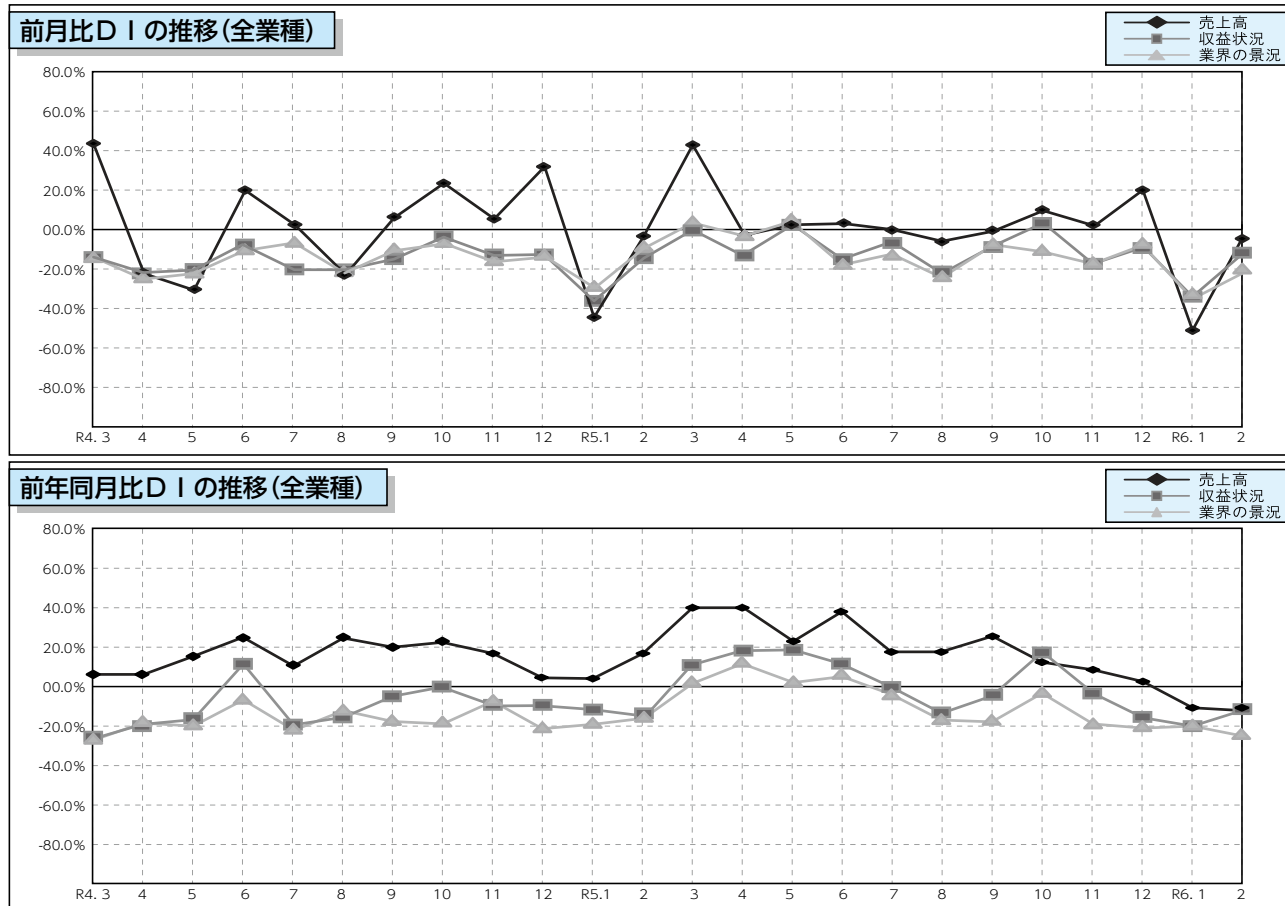
●DI[景気動向指数]値(全業種)

上段が1月分、下段が2月分

	前 月 比					前 年 同 月 比				
	↗	→	↘	DI	評価	↗	→	↘	DI	評価
売上高 [DI]=[増加]－[減少]	8.8%	32.4%	58.8%	-50.0%	☹️	26.5%	35.3%	38.2%	-11.7%	☹️
	25.7%	45.7%	28.6%	-2.9%	😊	22.9%	42.8%	34.3%	-11.4%	☹️
在庫数量 [DI]=[減少]－[増加]	4.3%	78.3%	17.4%	13.1%	😊	17.4%	82.6%	0.0%	-17.4%	☹️
	8.3%	87.5%	4.2%	-4.1%	😊	16.7%	75.0%	8.3%	-8.4%	😊
販売価格 [DI]=[上昇]－[低下]	11.8%	82.3%	5.9%	5.9%	😊	44.1%	53.0%	2.9%	41.2%	😊
	11.4%	88.6%	0.0%	11.4%	😊	40.0%	57.1%	2.9%	37.1%	😊
取引条件 [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	88.2%	11.8%	-11.8%	☹️	8.8%	85.3%	5.9%	2.9%	😊
	0.0%	94.3%	5.7%	-5.7%	😊	11.4%	82.9%	5.7%	5.7%	😊
収益状況 [DI]=[好転]－[悪化]	2.9%	58.9%	38.2%	-35.3%	☹️	8.8%	61.8%	29.4%	-20.6%	☹️
	5.7%	77.2%	17.1%	-11.4%	☹️	11.4%	62.9%	25.7%	-14.3%	☹️
資金繰り [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	85.3%	14.7%	-14.7%	☹️	8.8%	79.4%	11.8%	-3.0%	😊
	2.9%	91.4%	5.7%	-2.8%	😊	8.6%	80.0%	11.4%	-2.8%	😊
設備操業度 [DI]=[上昇]－[低下]	0.0%	71.4%	28.6%	-28.6%	☹️	7.1%	64.3%	28.6%	-21.5%	☹️
	7.1%	71.5%	21.4%	-14.3%	☹️	7.1%	64.3%	28.6%	-21.5%	☹️
雇用人員 [DI]=[増加]－[減少]	0.0%	97.1%	2.9%	-2.9%	😊	11.8%	82.3%	5.9%	5.9%	😊
	0.0%	97.1%	2.9%	-2.9%	😊	11.4%	85.7%	2.9%	8.5%	😊
業界の景況 [DI]=[好転]－[悪化]	0.0%	67.6%	32.4%	-32.4%	☹️	8.8%	61.8%	29.4%	-20.6%	☹️
	0.0%	80.0%	20.0%	-20.0%	☹️	8.6%	60.0%	31.4%	-22.8%	☹️

😊=良い (DI>30%)、😊=やや良い (30%≥DI>10%)、😊=変わらない (10%≥DI>-10%)
☹️=やや悪い (-10%≥DI>-30%)、☹️=悪い (DI≤-30%)

●DI（景気動向指数）値の推移



< 業 界 通 信 >

■佐賀県菓子工業組合 理事長 中原正博 氏

年が明けた週は、正月休みもあり、堅調な動きで良かったが、その後の上中旬から下旬にかけて、需要は厳しくなった。商品によって需要に温度差がある事や物価高の影響が出ているような購入販売価格帯や商品の動きがみられた。原材料価格、包装資材、光熱費、人件費などの高騰分をすべて価格転嫁出来ていないので、急がれるが、少しずつ価格転嫁も進んでいる。(1月)
需要は先月より少し上がってきたが、2月としてはそれほど勢いはなく、大きな行事の一つであるバレンタインも良かったと言う動きではなかった。物価上昇や販売価格の高騰などが影響していると感じた。また販売する商品の価格帯や商品形態にも影響がみられ、需要に変化が出ている。原材料や資材、光熱費など全体的に高騰している中、すぐに全てを価格に転嫁出来ていないので、市場の動きを見ながら少しずつ販売価格に転嫁をしている事業者も多い。(2月)

■佐賀県酒造協同組合 事務局長 山崎みち子 氏

酒類の需要が年間で最も多い年末年始において日本酒は前年対比94%、焼酎は97%と伸び悩んだ。飲食店の需要も増えているが週末限定、1次会のみなどで、タクシー等の数が足りていない状況が酒類の売上に少なからず影響したと思われる。これから春にかけて蔵開きなども計画されているので、組合としてはPRに協力し盛り上げていきたい。
海外については若干持ち直してきたが前年対比は95%となった。(1月)
日本酒の出荷数量は前年対比112%、焼酎は96%と伸び悩んだ。日本酒は新酒が多く出されている上に、蔵開きや酒類を使ったイベントも開催されているので春に向けて好調なスタートダッシュができたようだ。海外については日本酒が前年対比122%となり若干持ち直してきた。(2月)

■佐賀県漬物工業協同組合 理事長 広瀬忠伸 氏

1月は年末、そしてお正月の行事が多忙なせいか毎年落ち込みを見せる。それでも例年は中旬以降に回復傾向をみせるが、今年は後半まで低調な動きだった。道の駅、販売所等の客数も少なかった。原因は分からないが、後半の寒波の影響も考えら

れる。(1月)

2月は例年通りのような推移だった。毎年1月の落ち込みを引きずり、3月を見据えて消費が伸び悩む月ではあるが、3連休が2回もあった割にはスーパー、道の駅等の動きが鈍かったようだ。1月分の付け足しとなるが、お正月の羽田空港飛行機事故の影響で、板付空港、佐賀空港共に羽田便が欠航し、お土産品等の需要が激しく落ち込んだとの話があった。(2月)

■嬉野茶商工業協同組合 理事長 中山明則 氏

12月の反動で例年1月は売上が低迷する月だが本年度はさらに厳しい月になっている。一番茶の取引は低調で消費者の需要低迷が業界全体の売上減の要因になっており、進物需要の減少が業界にとって特に深刻になっている。(1月)
2月は例年売上が低迷する月ではあるが、本年度はさらに厳しくなっている。色々な物価の高騰により嗜好品である緑茶は節約品の一つになっており、リーフ茶の低迷が顕著に出ている。新茶を前にいろいろなPRを行っているが、いい方向に向かってくれることを願っている。(2月)

■諸富家具振興協同組合 副理事長 平田尚二 氏

新たな年を迎え、家具産地大川では第56回となる新春展が開催された。コロナが5類に移行して初となる新春展は、多くの来場者でにぎわいを見せた。コロナ禍前の水準のように戻ったようである。が、年初めの能登半島地震や羽田空港事故などで、東日本地域の来場に影響が出たように感じた。ただ、客足は戻ったものの、商談内容は厳しい状況が続いている。一般消費の需要が、引き続き厳しいとのことである。家具インテリアへの消費回復へは、今しばらく時間がかかるものと思われる。しかし、観光レジャーに伴う建築に関しては、設備投資が行われている情報を聞く限りでは、一般消費回復へ我々の時期と見ている。消費回復に向けた新作投入が盛んに行われている。(1月)

立春を迎え需要期となってきた。消費回復の傾向としては、法人向け建築に絡む案件が増えてきているように思える。ホテル・旅館などの宿泊施設が、新型コロナで停滞していたプロジェクトの始動や、インパウンドの回復に伴う設備投資など明るい

兆しが見えてきている。資材に関しては、値上げも多少見られるが、全体としては、高止まりの傾向が引き続きみられる。資材の下落は、現段階では考えにくいので、価格への転換をスムーズに行っていきたい。

海外を見ると、戦争に伴う物流面での支障が、家具輸出に関しても影響が出ているように感じられる。戦争によるスエズ運河の航行制限、天候によるパナマ運河への影響など船舶の航行に支障をきたしている。(2月)

■佐賀県紙業振興協同組合 事務局 松尾雄一郎 氏

価格転嫁により売上は増加しているものの、材料費や副資材、物流費の高止まりで収益はさほど伸びていない。(2月)

■佐賀県印刷工業組合 理事長 真崎俊夫 氏

12月同様前年比では例年よりも受注の動きが鈍く売上、収益共に悪化した。毎年繰り返し受注がある官公庁からの仕事も部数が減ったり、デジタル化され、無くなっていく傾向にあり、その影響は少なからずもあるようだ。仕事量も年々減っていく中で収益を確保していくには各社独自の付加サービスで補っていかねばならないが、業界全体ではまだ温度差があるようだ。3月には組合員を対象に「メディアユニバーサルデザイン」の研修会を行う。デザイン部門で少しでも付加価値をつけていきたいと思う。(1月)

2月は年度末を控え1月比では受注、売上共に増加した。昨年まではコロナ後の経済対策の特需があったが、今年度は特需もなく、更に昨年の統一地方選でのポスター等の印刷もなく前年対比では業績も悪化した。用紙の出荷高(t数)も前年より85%程度となり毎年減少が続いている。4月は値上げを控えているが、原材料高に対する価格転嫁は一定量進んでいる程度にとどまり、昇給率は報道されている率には程遠いようだ。(2月)

■佐賀県陶磁器工業協同組合 業務課長 山口善広 氏

インボイス対応に対する評価が欲しい。過剰に対応している面等がないかを評価する基準がないので、不必要な経費や手間があれば是正したい。(1月)

ホテル・旅館向けの出荷が底固い印象。人件費上昇に備え商品の価格転嫁に取り組むが、なかなか転嫁が進まない現状である。(2月)

■肥前陶土工業協同組合 事務局長 一ノ瀬秀治 氏

1月の陶土共同販売高は対前年同月比92.3%、対前月比92.1%で推移。取引先である生地製造業者の高齢化による労働力の低下、労働意欲の減退による生産能力の低下がそのまま数字となって表れている。体調面などから労働時間も短縮傾向にあり、ますます厳しくなっていく事が想像出来る。同様の傾向は組合員事業所である陶土業者にも言える事で、労働力を含めた生産能力の確保が今後の課題だと考えている。(1月)

2月の陶土共同販売高は、対前年同月比94.6%、対前月比115.3%で推移。前年同月比では5%~10数%の減少が続いている。前月比では稼働日数が増加した分、販売高も増加に転じた。しかしながら、高齢化の進行による労働意欲の減退、生産能力の低下が著しく、若年者の労働力の確保が課題となっている。(2月)

■佐賀大和工業団地協同組合 事務局長 中村耕三 氏

○当団地は、金属加工、機械部品製造、総合印刷業の企業が主であるが、売上面は、前月比、前年同月比とも、「減少」傾向が強かった。受注単価等の販売価格は、前年同月比でも、12月までとは違って、「上昇」もほぼ一段落したようで、「不変」傾向となった。○当団地の共同受電(19社中、17社が利用)電力使用量合計の推移では、前年同月比が、10月89%、11月97%、12月93%と推移し、1月はさらに90%と減少傾向が続いている。大口使用先の機械、印刷の2社の減少幅が大きい。なお、1月分の電力会社からの請求金額は、前年同月比91%となり、使用量減とほぼ同じ割合で下がった。(1月)

○売上面は、前月比~増加、一方、前年同月比~減少傾向と出た。特に機械部品製造関連企業で、この時期は例年、4月以降に向けて引き合いも増えるが、今年は上昇傾向が見られない。中国への輸出減少や半導体不足など、直接的な取引はないが、それらの影響が回りまわって、景況悪化の方向に行くのではと懸念されている。○共同受電(19社中、17社が利用)電力使用量合計の推移では、前年同月比が、11月97%、12月93%、1月90%で推移し、2月も同様に91%と減少傾向が続いている。要因は大口使用先の機械、印刷の2社の減少幅が大きい。なお、2月分の電力会社からの料金請求金額は、前年同月比99%と前年度並みであるが、使用料が減少した割には、実質的な負担軽減

減となっていない。(2月)

■唐津鉄工団地協同組合 事務局長 渡邊浩布弥 氏

鋼材を取り巻く環境として、建築分野においては大型案件中心に堅調に推移しているが、中小案件では実施計画の縮小、工期の見直しの動きがでており、荷動き自体は鈍化傾向にある。鋼板分野においては自動車関連向けは回復基調にあるものの、未だ製造業全般の回復には至っていない。鉄鋼メーカー各社はエネルギー価格の上昇、24年問題を見越した輸送コストの上昇を背景に、値上げの新聞発表を相次いで行っており、来期に向け値上げの懸念が高まっている。(1月)

公共工事に携わる市内建設業は、現在どこも仕事がない状態である。資材高騰や人件費高騰により入札が不調だったり設計変更など、元請けも下請けも大変だ。企業誘致をしても、結局本社で決定した業者を連れて来るので、そこは問題だと思う。地元で税金をしっかりと納める業者の事も考えて欲しい。(2月)

■協同組合鳥栖商工センター 事務局長 松雪大輔 氏

小郡鳥栖南スマート IC の開通が近づいており、期待が高まっている。(2月)

■肥前陶磁器商工協同組合 専務理事 藤 雅友 氏

1月は、前月比82.33%、前年対比99.44%。動きに二極化は見られるが、従来の定番商品の取引の動きに先月の注文残などを加えると、もう少し共販数字が伸びるだろうと期待していたが、稼働日数の関係もあり、数字が伸び悩んだ面が見られた。(1月)

2月は、前月比112.52%、前年対比91.64%。新型コロナ禍を抜け出し、経済活動の懸念材料は消えたが、何か共販取扱を見て一時的な足踏み状態が続く、動きに鈍さが見られるようだ。目前には物価の高騰、値上げの要請など、越えねばならないハードルも懸念材料として挙げられる。(2月)

■佐賀青果食品協同組合 理事長 眞崎喜隆 氏

新しい年を迎え気持ちも新たにと思っていたが、突然の能登半島大地震が発生。亡くなられた方、被災された方に対して心からお見舞い申し上げる。続いて飛行機事故、さらには九州で大火災が発生し、前途厳しい年明けとなった。青果物については、当初は例年と同じような価格や出荷量だったが果物ではいちご、みかんが高値での推移となっている。さらには、輸入果実のオレンジやレモンなどがどんどん値上がりしている。月末になると寒波で一時的に品薄になったが、すぐ平常となった。1月は本当に災害の多い月だった。(1月)

2月は暑かったり寒かったりの不安定な気候であり、野菜は前年に比べて出荷量は少しの減少であったが、果物については依然として高値である。一年を通じ高値での推移となっている。22日に「にじゅうまる」の販売があり、大変な人気でこれを機に組合員さん達に勢いがついて欲しいと思う。イチゴなどは正月過ぎたら少し安くなっていたが今年は逆に高くなっているのが現状である。(2月)

■協同組合ショッパーズかんざき 理事 坂田重利 氏

正月3日間は刺身、寿司の売上が良かったが後半に入り青物の入荷量が減った。時化が続く、寒波到来で入荷量が極端に少なくなった。(1月)

毎年2月の時期は時化が続くが、今年は特に天候不順で入荷量が激減し、売上が減少した。円安の影響で輸入物の価格が高騰し、又、養殖魚の値上げで仕入が厳しく、価格転嫁できず収益も悪かった。一方、寿司(恵方巻)他を扱う店舗(部門)は売上、収益共に前年並みだった。(2月)

■佐賀県石油商業組合 事務局長 森永伸一 氏

原油価格は月末には80ドル/bを超え、為替も150円に接近するまで円安となり、仕入価格の上昇要因となったが、「激変緩和補助金」の効果で仕入価格は前月よりも下落した。一方で、各組合員から聞こえてくるのは販売数量の落ち込みで、需要減のトレンドは続いている。降雪の影響で洗車の需要が多少あったものの、全体の売上高には大きな変化はなかった。(1月)

原油価格は80ドル/bを超える水準で推移、為替も今月下旬には150円を超える円安となり、仕入価格の上昇要因となったが、「激変緩和補助金」の効果で小売価格の変動は見られなかった。また、暖冬の影響で季節商品の灯油の販売数量は大きく落ち込んだ。(2月)

■鳥栖本通筋商店街振興組合 理事長 緒方俊之 氏

9日~11日 十日えびす祭開催(1月)

■伊万里駅商店街振興組合 専務理事 小林宏慈 氏

国内最安値を売りにしているスーパーマーケットの佐賀一店が完成間近になり、当組合以外の市内・県内業者間での動向注視も目立つ程に動いている。上記スーパーの隣接地には工業用品・建設資材系のホームセンターが建設中で現在も複数のホームセンター等がある上に更に増加すると過剰な競争が予想され金物や建設資材の販売店への打撃が心配される。インバウンドは変わらず微増程度。(1月)

先月報告した全国展開中の24時間営業激安スーパー佐賀一店が当地にオープン。一部商品・惣菜等は昼頃から夕方まで常時30分以上待ちで、買い物客が並んで待つ状況も多々ある。だが田舎の街への出店なので夜から朝までは客の姿はほぼ見受けられない。九州でも平均所得が少ない街なので100円ショップが出来た頃に価格基準が引き下がるのが危惧されたが、現在同様の雰囲気を感じられる。夏までは様子見が続くそう。(2月)

■佐賀県自動車整備商工組合 専務理事 保利昌宏 氏

当会の上部団体である日専連は、令和5年6月末時点での「令和5年度自動車特定整備業の実態調査」の集計結果の概要を公表した。(会計年度では「令和4年度」実績) 1.総整備売上高：令和5年度調査における総整備売上高は5兆9,072億円となり、前年度より1,684億円(2.9%)増と2年連続で増加した。直近6年間の総整備売上高の推移をみると、令和3年度は減少したが、その後は2年連続で増加した。2.事業場数：調査時点における事業場数は91,849事業場で、前年度より138事業場(0.15%)増と2年連続で増加。3.整備関係従業員数：整備関係従業員数は554,307人で、前年度より6,975人(1.27%)増加。4.整備要員数及び整備士数：整備要員数は399,770人で、前年度より151人(0.04%)増加。整備士数は331,255人で、前年度より426人(0.13%)減となり、整備要員数に対する整備士数の割合(整備士保有率)は0.1ポイント低下し82.9%となった。5.整備要員一人当たり年間整備売上高：整備要員一人当たり売上高は14,857千円で、前年度より2.9%増加。6.整備要員平均年齢：整備要員平均年齢は47.2歳で、前年度より0.5歳上昇。7.整備要員平均年収：整備要員平均年収は4172.8千円となり、前年度と比較すると129.0千円(3.2%)増加。(1月)

当会の上部団体である日専連は、令和6年1月時点の「整備需要等の動向調査」の集計結果を公表した。1.今期(令和5年7月～12月)の総整備売上高DIはプラス13.5で、前期(令和5年1月～6月)より3.3ポイント改善した。今期の総在庫台数DIもマイナス3.6で、前期より0.8ポイント改善した。2.来期(令和6年1月～6月)の業績予想では、総整備売上高DIはマイナス9.2で、前期より2.4ポイント悪化した。来期の総在庫台数DIもマイナス16.9で、前期より3.9ポイント悪化した。3.整備業界全体の景況感DIは前期と変わらず。しかし、「悪い」の構成比に変動が無くても、「やや悪い」が減少し、「かなり悪い」が増加していることから、景況感には下向きと言える。(2月)

■佐賀県クリーニング生活衛生同業組合 理事長 坂本豊美 氏

正月すぎ、近隣の美容、飲食店の方々と話しているとお客様の動きが減少しているとの会話だった。正月に使用すぎて、財布のひもが固くなっているのかと思われる。(1月)

- ・今年度も退会者や廃業者あり。廃業者の方々は高齢者、退会者は仕事の減り方で経費節約のためとの事。
- ・衣替えのシーズンとなったが、どれだけの仕事をもらえるか。(2月)

■佐賀県美容業生活衛生同業組合 主任 中島千鶴 氏

新年の行事(成人式・新年会)等の活性化による売上は伸びたものの、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染者の拡大による予約のキャンセル等が増えた。着付関連の売上は、店舗間の格差が激しいと思われる。優秀な着付技能をもつ美容師が多数いるにもかかわらず、着付の業務で売上を伸ばせないのは惜しい。何か方策を考える必要がある。(1月)

例年、2月は寒い日も多く、営業日も少ないので売上は少し落ちる。また物価のゆるやかな上昇が続く、お客様の来店サイクルが長くなり、顧客単価も伸びない。(2月)

■唐津市旅館協同組合 理事長 松下隆義 氏

組合員1名減少し、1名追加あり。M&Aで企業再編成あり(大手シーサイド&ロイヤルホテル)。コロナ禍で悪化し、企業買収あり。(1月)

都荘4月退会。ロイヤルホテル、シーサイドホテル経営者変わる。虹の松原ホテル、指定管理者変わる。コロナ禍前より、業況悪化している。カラパイ6億(唐津市)に支援金を発行する。(2月)

■佐賀県ソフトウェア協同組合 事務局長 坂井貴紀 氏

12月はインボイス制度に対応するシステム改修も落ち着き、前年比では若干、売り上げや受注数が減少した。人件費や外注費の伸びをなかなか価格転嫁できないところがあり、収益は前年よりやや悪化している。1月から始まった電子帳簿保存法に伴う相談が12月後半から少しずつ増えており対応する仕組み作りやアドバイスを進めている。(1月)

行政のIT補助金に関連した受注などが、前年より増えてきているようだ。これから年度末に向けて、今年度受注・開発したシステムなどの納品で忙しくなっている。今後は技術者の流出を防ぐため、賃上げを含む処遇改善をしていかなければならない流れになってくるだろう。また、外注費の値上げや今春からソフトウェアや開発用ライセンスなども値上げされるため、対応を考えていく必要がある。(2月)

■佐賀県建設工業協同組合 常務理事 島内俊幸 氏

令和6年1月の公共事業は、件数では、前年同月比で増減なし、前月比で20.4%の減、請負額では、前年同月比11.9%の減、前月比1.7%の増となっている。令和5年12月の住宅着工は、戸数では、前年同月比は37.9%の増、前月比で26.1%の増、工事費では、前年同月比は38.0%の増、前月比で34.3%の減となっている。(1月)

令和6年2月の公共事業は、件数では、前年同月比で18.3%の増、前月比で37.2%の増、請負額では、前年同月比1,524.3%の増、前月比1,340.0%の増となっている。令和6年1月の住宅着工は、戸数では、前年同月比は10.8%の減、前月比で41.5%の減、工事費では、前年同月比は88.5%の増、前月比で103.4%の増となっている。(2月)

■協同組合佐賀県鉄構工業会 事務局長 大坪一徳 氏

- *業況…手持工事量が1ヶ月～6ヶ月、工場稼働率が50%～100%と稼働率が先月より落ち込んでおり、企業間の格差が大きくなっている。

- *動向…建設コストの高止まりで、工事量、見積り共に少ない状況が続いており、先の見通しが厳しい状況である。

- *問題点…図面承認の遅れによる生産調整が常態化し、現場にかかる負担が大きくなり経費が増加し利益確保が難しくなっている。(1月)

- *業況…県内各社の手持工事量が1ヶ月～7ヶ月、工場稼働率が60%～100%と前月とほぼ変わりなく推移している。見積り件数が少ない状況が続いている。

- *動向…中小物件が少なく、これを手掛けている県内企業は厳しい状況が続いている。全国的に今年度の工事量は少ない見込みとなっている。

- *問題点…今年に入ってから鋼材メーカー各社の値上げにより鋼材価格の上昇に加え、物流費などのコスト高に対する価格転嫁が必至となる。(2月)

■佐賀県電気工業協同組合 事務局長 山口光浩 氏

資材の価格高騰、納期遅延、担い手不足など様々な問題が生じている。(2月)

■佐賀県東部管工事協同組合 事務局長 大串哲也 氏

令和5年度に計画されていた公共工事の発注はほぼ終わっているが県東部地区で宅地開発が多く行われており、それに伴う水道工事が発注されている。当月期は特に多かった。(1月)

2月期の公共工事受注額は、前月期及び前年同期共に減少しているが、令和6年度全体としては前年度を上回る受注額となった。令和5年度の残工事も概ね年度内に完工の見込みになっている。(2月)

■佐賀県貨物自動車事業協同組合 専務理事 大江孝文 氏

(1)荷動きは、12月と比べると悪くなった。ダイハツ工場の生産停止や雪の影響もあったと思われる。(2)軽油価格は、対前月比ではあまり変わらないが、前年同月比では4円/ℓ程、高くなった。運行コストが上昇している中、特に売上げが落ち込む1～2月は厳しい状況となる。(1月)

(1)2月は、例年通り荷物の量が減少し荷動きは良くなかった。(2)軽油価格は、対前月比ではほぼ変わらないが、前年同月比では5円/ℓ程、高くなった。(3)2024年問題を控え、M&Aや廃業等を検討されるところがでてきた。(2月)



つどうばい!
組合の若い力が集U B A い!

佐賀県中小企業青年中央会

R6
01
PRESS

龍谷中学校との交流会

日時 3/18(日)~19(月)

場所 佐賀市「鶴霊泉」等

先日、異業種マッチング会での企画を実現すべく龍谷中学校の3年生を招待して交流会を開催しました。

古湯温泉の「鶴霊泉」、「杉乃家」、「SAGA FURUYU CAMP」、「山あかり」にご協力いただき、旅館業の職場体験を行った後、旅館業についての意見交換を行いました。

「どんな旅館なら働きたいか」、「どんな旅館なら泊まりたいか」という2つのテーマで意見交換を行いました。

仕事終わりに温泉に入れるとこで働きたい、家族を連れて泊まりに来て良いとこで働きたい、全面ガラス張りで見えのいいとこに泊まりたいなど様々な意見が出ていました。

翌日は「大串製菓」、「丸きんまんじゅう」にご協力いただき、朝からおはぎ作り体験を行い来訪者に無料で配布し、その後清掃活動を行いました。



九州ブロック 中小企業青年中央会 第2回各県会長会議

日時 2/22(土)16:00~

場所 沖縄県那覇市
「南西観光ホテル」

九州・沖縄の会長が集まり、九州ブロック中小企業青年中央会の今後の活動について協議を行いました。



今後の予定

○佐賀UBA第48回通常総会
日程:令和6年6月17日(月)
場所:佐賀市

○組合青年部全国講習会
日程:令和6年11月
場所:長崎県

○全青中通常総会
日程:令和6年6月21日(金)
場所:大阪府

○九州青年部の集い
日程:9月19日(木)
場所:沖縄県



ごあんない



各青年部での活動やイベントのお知らせ等も、これからどんどん紹介・発信していきますので、お気軽にお寄せいただき是非ご利用ください♪

佐賀 UBA所属組合一覧

(会員数: 36組合 505名)

- 1.佐賀青果食品(協) 青年部
- 2.佐賀県自動車整備振興会 青年部
- 3.肥前陶土工業(協) 青年部
- 4.佐賀県菓業青年会
- 5.佐醸会
- 6.佐賀県印刷人若楠会
- 7.陶交会
- 8.有田はなぶさ会
- 9.(協)唐津総合卸センター若手会
- 10.佐賀新聞販売店(協) 若登会
- 11.佐賀県造園(協) 青年部
- 12.佐賀県室内装飾事業(協) 青年部
- 13.佐賀工場団地(協) 青年部
- 14.佐賀県電気工事業(工) 青年部会
- 15.佐賀県漬物工業(協) 青年部
- 16.佐賀県貨物自動車事業(協) 青年部 青運会
- 17.(協)鳥栖商工センター若桜会
- 18.佐賀県醸造研究会
- 19.佐賀県左官組合青年部
- 20.佐賀県中古自動車販売(商工) 青年部会
- 21.佐賀県旅館ホテル(生衛) 青年部
- 22.佐賀長崎農業機械商業(協) 青年部
- 23.諸富家具振興(協) 青年部
- 24.(協)佐賀県鉄構工業会 青年部
- 25.佐賀県テント・シート(工) 青年部
- 26.佐賀県瓦事業(協) 青年部
- 27.佐賀県畳(工) 青年部
- 28.(協)佐賀逸品会 青年部
- 29.佐賀県板硝子商(協) 青年部
- 30.佐賀東部管工事(協) 青年部
- 31.佐賀県環境整備事業(協) 青年部
- 32.小城羊羹(協) 青年部会
- 33.唐人町(商振) 青年部
- 34.佐賀県ビルメンテナンス協会青年部
- 35.有田焼卸団地 青年部会
- 36.九州珍味食品(協) 青年部

佐賀県中小企業青年中央会(佐賀UBA)は、県内経済の次代を担う中小企業組合の青年経営者、若手後継者等の育成を主な目的としています。互いに交流を深め意見を交換しながら、業種の垣根を超えたビジネスの創出、ビジネス・マッチングによる新しい経済活動の創出を目指し活動しています。

加入組合青年部募集!

本会の趣旨に賛同していただける未加入の組合青年部がございましたら、是非加入をご検討ください!!

お問い合わせは事務局0952-23-4598まで。



桂のかわら版

今号より新たに「桂のかわら版」として、最近の動向から気になるトピックスをご紹介しますので、よろしくお願いいたします。

vol.1

去る令和6年3月15日(金)、国、県、県内経済団体、労働団体の全13機関による「価格転嫁の円滑化に関する連携協定」が締結されました。

協定は、関係機関が連携して適正な価格転嫁の実現に向けた気運を醸成し、サプライチェーン全体での共存共栄、付加価値の向上を図り、県内中小企業・小規模事業者の稼ぐ力を高めることを目的としており、価格転嫁の状況に関する情報収集と発信、価格転嫁の円滑化に関する支援情報等の周知、大企業と中小企業の共存共栄を目指すパートナーシップ構築宣言の促進を行ってまいります。

協定式では、中小企業にも賃上げマインドは確実に定着してきており、連携協定がさらにその流れを加速させる一助となるよう期待していることや、一方で燃料費や人件費の増加を価格に転嫁できていないために賃上げの原資を確保できていない中小企業もまだまだ多いことについて、中央会の代表として考えを述べました。

当会としても会員組合が適切に価格転嫁することができるよう支援体制を整備してまいります。コスト上昇分をみずから引き受けてしまっている中小企業もありますので、本協定をより実効性あるものとしていくべく、継続的に価格転嫁しやすい環境づくりについて関係機関の皆様方にもご尽力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【連載】第13回

組合 Q&A 組合の解散手続きについて

(組合員) 最近組合の活動の少なかけん、解散まではせんにしても一旦休眠した方がよかとやなかねという意見が組合員さんから出るとやけど手続きの仕方ば教えて。



(中央会) よかですよ。正式には「休眠」という制度自体がなかとですよ。そいけん基本的にはこのまま活動を続けて納税するか、解散するか2つからどちらにするかで検討してもらわんばいかんです。

(組合員) 解散てなるとどがん手続きの必要になると？



(中央会) まずは総会の特別議決で解散日を決めていただいた上で清算人を選出してもらわんばです。その後、年度末から解散日までの決算報告を行う臨時総会を開催。さらにその後に残余財産分配等を決定する臨時総会(清算結了総会)を開催してもらわんといかんです。都度、届出や登記も必要かです。

(組合員) なかなか大変かね。



(中央会) 大変かですよ。組合で不動産を所有している場合は、購入者を見つけないと分配し難いので精算までに時間がかかる場合が多かです。

【ちなみにばってん】

不動産の購入者が見つからないなど残余財産分配に仮に2年要した場合、事業を行っていないでも1年度ごとに決算と納税(法人県民税と法人市民税の均等割分)を行う必要があります。

佐賀県中央会の活動動向

令和5年秋の叙勲受章

株式会社大神 代表取締役社長 吉村 正氏

旭日章功績の内容に着目し、顕著な功績をあげた方に授与される「旭日単光章」を、株式会社大神 代表取締役 吉村正社長が、佐賀市南商工会長として受章されました。また、受章を記念した祝賀会が令和6年3月23日(土)にホテルニューオータニ鶴の間で行われ、当会から福岡桂会長・西岡剛志専務理事が出席致しました。

佐賀県中央会 新入職員ご紹介

はじめまして。

令和6年度4月1日付で入職いたしました、古賀 巖(こが げん)と申します。

佐賀市出身の24歳独身(彼女募集中♡)です。

前職では福岡県内で建設機械の営業を2年間しておりました。

趣味はサッカーをすること、ドライブ、可愛いK-POPアイドルを眺めることです。今年こそは推しのライブに行ってファンサービスを沢山貰い、それを力に変えて日々業務に励んでいく所存です。

至らない点が多く未熟者ではございますが、先輩方に教えていただきながら一つ一つ業務をこなし、早く皆様のお力になれるよう努力いたしますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



はじめまして。

令和6年4月1日付で入職いたしました。

西村 香美(にしむら よしみ)と申します。

職員さんの産休代替で1年間お仕事させていただきます。

今まで、金融機関や事務職系のお仕事に多く携わっています。

気分転換はランニング等で汗をたっぷり流してリフレッシュし、週末は長く続けているフラダンスでハワイの音楽に癒されています。イベント出演前には少し真剣モードをプラスして楽しんでいます。

短期間とはなりますが、少しでも早く業務に慣れて、皆さまのお役に立てるように努力したいと思いますのでよろしくお願い致します。



これからの行事・イベント

【第68回中央会通常総会】

中央会の通常総会です。令和5年度の事業・決算報告と令和6年度の事業計画・予算が審議されます。後日正式にご案内致しますが、会員組合の皆様におかれましてはご出席をよろしくお願い致します。

日時：2024年6月6日(木) 15:00～

場所：佐賀市 ロイヤルチェスター佐賀

主催：佐賀県中小企業団体中央会 TEL：0952-23-4598

【第63回中小企業団体九州大会】

本大会は、九州・沖縄各県の中小企業者が地域や業界の枠組みを超え広く連携することにより、国等に対して、中小企業の安定と発展を図るため、実効ある諸政策の確立を要請し、この実現を強力に推進することを目的として開催します。今年は沖縄県での開催です。詳細は決まり次第ご案内いたします。

開催日時：2024年9月19日(木) 14:00～

開催場所：沖縄県宜野湾市「沖縄コンベンションセンター」

主催：沖縄県中小企業団体中央会 九州中小企業団体中央会連合会

【第76回中小企業団体全国大会】

毎年1回、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、組合組織を基盤にして中小企業の安定的な振興発展をめざすことを目的として開催します。今年は福井県での開催です。詳細は決まり次第ご案内いたします。

開催時期：2024年10月24日(木)

開催場所：福井県福井市「フェニックス・プラザ」

主催：福井県中小企業団体中央会 全国中小企業団体中央会

利用料無料!! 使わなきゃソン!

組合や組合員企業で行うイベントや行事など、県一円に広く告知したいものがありましたら中央会 総務部 までご一報ください!

編集後記

3月末日をもって定年退職しました栗山です。

令和6年度第1号が発行される頃には中央会を卒業しているのですが、特別に編集後記を担当することになりました。

私が初めて情報誌の担当になったのは、平成7年4月のことでした。当時は毎月発行する「佐中情報」と年に4回発行する組合活性化情報「Link」に分かれていましたが、平成11年4月に二つを統合し、月刊誌「Link」として再スタート。その頃の編集スタイルは、まず掲載内容を上司と打ち合わせして、取材、原稿作成、印刷会社対応、校正などを担当者がほぼ一人で行うというもので、情報誌が納品されて発送を終えると、すぐに次の号の作業に取り掛かるという具合で、ぼっとする間もありませんでした。今振り返ると、能動的な情報収集が大きな学びにつながったと感じますが、一人で行う作業は大変でした。扁桃炎を悪化させて、Linkが校了した翌日から入院する、なんて、昭和のモーレツ社員のようなこともありました。

現在、「Link」の掲載記事は、若手職員を中心とした編集会議で意見を出し合って決定し、原稿も各自が担当しています。部署によって触れる情報の種類が違っているので、一人で担当するより絶対良いと思います。会員の皆様、これからも「Link」をよろしくお願いします。

COMMUNICATION NETWORK FOR MEMBERS

組合活性化情報誌 **Link** リンク NO.263

令和6年5月15日発行



佐賀県中小企業団体中央会

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号
佐賀商工ビル6階

TEL.0952-23-4598 FAX.0952-29-6580

URL <http://www.aile.or.jp> E-mail staff@aile.or.jp

これからは さが共済 と呼んでください

佐賀県火災共済協同組合は、地元のみなさまに育て上げていただき今日に至りました。相互扶助の組合精神の基、共済事業を通じて企業者と県民のみなさまに寄り添い、不慮の事故や災害、病気、ケガなどの災いに対する保障をお届けして明るい未来への土台づくりをサポートしていきます。

これまでもこれからも佐賀県をより一層盛り上げ、みなさまの身近な存在であり続けたいという熱い思いで、組合愛称「さが共済」とシンボルマーク、そしてキャッチフレーズを設定し、カタチにいたしました。

優しい温もりをもつ
カラーリング

芽吹いていく
自然を表現
したカラーリング

ハートのかたちになるシルエット
みなさまが笑顔になるための
架け橋として虹のように
アーチをえがいています

さが共済

今日も 明日も 安心

さが共済の各種共済制度

- 火災共済
- 生命傷害共済 ■医療総合保障共済 ■傷害総合保障共済 ■交通事故傷害共済
- 自動車事故費用共済 ■自動車総合共済（MAP）
- 労働災害補償共済 ■所得補償共済 ■休業補償共済 ■休業対応応援共済 ■中小企業者総合賠償責任共済



今日も 明日も 安心

さが共済

佐賀県火災共済協同組合

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1番12号 佐賀商工ビル6階
TEL 0952-24-6984 FAX 0952-24-6907



HP

HAPPY DESIGN SURVEY

幸せデザインサーベイ

「幸せデザインサーベイ」は、
商工中金の新サービスです。
詳細については、
<https://www.happydesignsurvey.com>
をご覧ください。

“幸せ”が、企業の成長を起動する
一緒に幸せな会社を創りましょう

幸せデザインサーベイは、会社の幸せを可視化します。



幸せに
フォーカス

中小企業の幸せにフォーカスした商工中金独自のサーベイ(調査)です。

監修：慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 保井俊之教授



売上と幸せの
関係性

幸せ指数の高い企業は、売上の成長率も高い傾向にあります。

2019年 商工中金調査による



WEB で簡単！

サーベイは、URL、QRコードから、WEBで簡単に受けられます。スマホにも対応しています。



従業員の
本音が聞ける

個人情報を特定する質問がなく、従業員の本音を聞くことができます。



豊富な
ソリューション

数値が悪くても大丈夫！豊富なソリューションにより、改善をサポートします。

<https://www.shokochukin.co.jp/>

商工中金

検索

佐賀支店 0952 (23) 8121 〒840-0801 佐賀市駅前中央 1-6-23



人を思う。未来を思う。

商工中金

SAGAのよかところ SAGAしてみらんね 寄ってみらんね 😊 ～ものづくり企業⑦～

中央会では、平成24年度から始まった補助事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、ものづくり・商業・サービス分野において独自の事業展開に取り組む事業者を対象に、補助金交付や事業推進支援を行っています。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方をご紹介します。

株式会社原田鉄工((協)佐賀県鉄構工業会 組合員)

コア連結溶接ロボットシステムの導入で生産性の向上とコストダウンを実現



昭和20年の創業以来、一貫してものづくりで地域に密着・貢献する企業を目指し、信頼と実績を重ねてきました。現在は建築鉄骨業を基軸として、安全・安心な製品を高品質・低コストで提供できるように日夜研鑽努力し、価値ある製品で地域づくりの一助を担っています。佐賀市を拠点に北部九州を中心に営業を展開し、取引先となる地場建設会社様からは、高品質・短納期で高い評価をいただいています。官民物件を問わず、地元佐賀では主要な物件を完工させており、今後も地域に密着した企業であり続けたいと日々努めています。

本事業への取り組みの経緯



製品（柱）を製作する加工工程において、溶接・ケレン作業が全体の約41%を占めています。この作業は、溶接部位によって作業条件が異なりますが、現在、製品（柱）のコア部分を旧式のロボットで溶接しており、ケレン作業は人が行っています。旧式のロボットは、溶接させる条件を人が常時ついて稼働させる必要があり、溶接時に付着したスパッタ（溶けた金属が飛散して固まった物）を手作業で除去しているのが現状でした。これから先、旧式のロボットの老朽化に伴い、維持・メンテナンス等によるコスト増、最新型柱大組ロボットの稼働時間ロス、常時人がつくため人的コスト増など、生産性の向上にマイナス要因が増加することは間違いありません。そこで、旧式ロボットを最新ロボットに更新することで、溶接においては溶接データも最新となり、高品質が実現でき、スタップ付着量も低減させることで人的コストを削減することを目指しました。

取り組み成果・波及効果



（株）神戸製鋼所製 [REGARC] コア連結シングル溶接ロボットシステムを導入したことにより、溶接においては溶接データが最新となって高品質を実現でき、スパッタ付着量も低減させることで人的コスト削減が可能になりました。品質が一定化したことで、コストを稼働率で管理できるようになり、生産性は溶接作業とそれに伴う作業を比較したところ、1.5～2倍の効率化が見込めるようになりました。何より、最新のロボットは完全自動化が実現でき、夜間でも無人で溶接することが可能になったので、生産性の向上・コストダウンの目的が立ちました。

補助金を活用してみても・・・

補助金を活用し、最新の設備を導入出来たことで、生産性の向上、製品の高品質化など様々なメリットが生まれました。当社は現在、若い社員も多く、様々な場面で活躍しております。今回の設備導入は、特に身体的・精神的な負担軽減が大きく、これからの会社を担っていく社員にとっては、仕事の幅を広げられる機会になりました。今後も地域に密着した企業として、社員一同、日々努めて参ります。

株式会社原田鉄工

住 所：佐賀県佐賀市嘉瀬町大字十五367番地1
連絡先：TEL：0952-24-0281



株原田鉄工HP



さがものづくり事例集
事業の詳しい内容はこちら



ものづくり補助金HP